

「殺すなかれ」を生きる

ノーモア七三一日本軍細菌戦部隊 軍学共同

発行 日本平和委員会
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277
大阪版編集 大阪平和委員会
〒543-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル 210号
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

平和新聞

2017年9月25日(月曜日)
2149号(毎月5、15、25日発行)(大阪版)
1950年12月16日第三種郵便物認可
1部140円 月額400円(郵送料込月額120円)

世界ではイスラム教排斥など宗教的不寛容がはびこっている。大阪平和委員会はこの問題は放置できないと4月にモスクとキリスト教会を巡るバスツアーを企画。その節お世話になった弓矢健児牧師のお話が素晴らしかったと多くの感想が寄せられました。

そこで本紙で今号より半年にわたり、弓矢牧師のお話を連載することにしました。
お楽しみに!

また、弓矢牧師は日曜日朝7時30分よりラジオ関西「キリストへの時間」で年2回お話をされています。そちらもぜひお聞きください!

日本キリスト教改革派教会 牧師 弓矢健児

「小さな抵抗」殺戮を拒んだ日本兵」という題の歌集が、岩波現代文庫から出版されています。この歌集の著者である渡部良三さんは、1944年学徒出陣で中国の部隊に配属されました。

ある日、上等兵の命令によって、中国人捕虜を突き刺して殺す訓練を強制されます。

しかし、渡部さんはクリスチャンであったため、「汝殺すなかれ」という聖書の教えに従って、捕虜を突き刺すことを拒否



千里山教会 弓矢牧師

します。その結果、渡部さんには要注意人物とされ、敗戦を迎えるまで軍隊の中で毎日、壮絶なリンチと差別を受けることになりました。

そうした苦難の中で、渡部さんは自分が経験した軍隊の実像を約700の歌に詠んで日本に持ち帰りました。その中に、『捕虜ひとり殺せぬ奴に何ができる』胸ぐら掴むのしり激し

「血を吐くも飲むもならざり殴られて口に溜まるを耐えて直立不動」という歌があります。渡部さんは軍隊の中で理不尽な迫害・リンチを受けながらも、信仰の良心に従って「殺すなかれ」を生きようとしたのです。

戦争は狂気であり、あらゆる罪と不義の塊です。戦争に正義などありません。それ故、戦争を放棄し、二度と戦争をしないことを誓った日本国憲法第九条は、世界的な人類史的な意義を持っています。どのような時代になろうとも、私たちは戦争に反対し、「殺すなかれ」を生きる者でありたいと願います。



講演後の意見交換では、大阪

第2回「軍学共同」市民と科学者のつどい(主催は大阪革新懇・日本科学者会議大阪支部・大阪平和委員会の三つで事務局団体を務める「軍学共同」市民と科学者の会・大阪)が8月19日、大阪市中央区で開催され97人が参加しました。

科学者会議大阪支部の河野仁さんによる開会挨拶の後、軍学共同反対連絡会共同代表の西山勝夫滋賀医科大学名誉教授が「軍学共同」の極みともいえるベ

き「731日本軍細菌戦部隊」について講演。西山さんは、731部隊で中国人に対し行なわれた非人道的実験、そして戦後もそれらのことが隠滅・隠蔽され、裁き・自省・謝罪・償いもされずに今日に至ってしまったことを、目を背けたくなる数々の資料・写真を用いて詳しく説明しました。

市立大学の卒業生が「『軍学共同』市民と科学者のつどい」と卒業生らで大阪市立大学当局に抗議・要請を行い、今年度は防衛省の研究助成制度に応募しないという報告を受けた。府大との統合問題もやめさせた」と決意表明。

上羽大阪平和委員会事務局長が市民と科学者の会事務局として「地域でも軍学共同問題についてミニ学習会をもつなど軍学共同反対の世論を広げよう」と呼びかけた後、革新懇代表世話人の渡辺武さんが閉会挨拶をしました。

つどいの後、科学者が入会しました。また、ケイ・シュガーさんによるミニコンサートも行われ好評でした。

【感想文より】
*軍学についてよくわかりました。配られたプリントも見やすく良かったです。
*よく調査され知らなかったことを、たくさん教えていただきました。

*中国で細菌使用の犠牲はつかみでどれくらいかという点も関心があります。原爆を使用したアメリカでは開発に関わった学者の反省も聞きますが、731部隊については、それが全くないこと、ドイツのナチス否定も合わせて考えるとき、日本



の異常さがわかりますし、安倍が拍車をかけています。
市対連ランチタイム&パレード
大阪市対策連絡会は9月13日市議会開会日行動としてランチタイム集会&パレードを80人の参加で実施。集会では小川陽太日本共産党市議が「維新政治は『都構想』を蒸し返し、カジノ建設など大型開発を大阪市民におしつけようとしている」と吉村市政を批判しました。集会後、参加者は「カジノ・巨大開発より福祉・教育の充実を」「都構想NO!」などとコールをしながら大阪市役所周辺をパレードしました。大阪平和委員会から山本樹事務局員が参加しました。

なくすな大阪市! 2017年市役所包囲デモ 9月13日(水)
カジノより! 小中学校給食無償化 市民要求実現
主催: 大阪市対策連絡協議会、府民要求連絡会



堺市長選 毎夕駅頭で宣伝

9月10日告示、24日投票で堺市長選挙が実施されます。4年前、維新との一騎打ちで竹山修身市長の再選を勝ち取りました。この勝利の教訓が南海を渡り「オール沖縄」による稲嶺名護市長と翁長県知事の当選に結実したと言われています。大阪平和委員会は、4年前と同じく夕方宣伝行動を分担。原水協など他の平和友好団体にも協力を依頼。9月5日、22日平日の夕方6時半〜8時JR浅香駅で宣伝を行っています。1時間半の間に10本の電車が到着。堺市の仲間と一緒に蚊に刺されながらプラカードを首にかけ降車して改札を出てきたサラリーマンに声を掛けながら、日替わりビラを渡しています。

北朝鮮核実験に抗議

北朝鮮は9月3日、大陸間弾道ミサイルの搭載可能な水爆の実験を実施しました。



毎回5人以上で配布

大阪平和委員会は4日、この問題で声明を発表しました。以下はその要旨。

一、昨日、北朝鮮は、6回目の核実験を強行し、「ICBM (大陸間弾道ミサイル) 搭載の水素爆弾の実験を成功させた」と発表した。くり返される弾道ミサイル発射実験とあわせ、これは累次の国連安保理決議や国際合意に反し、地域と世界の平和と安定を脅かし、問題の平和的外交的解決をめざす国際的努力にも逆行する蛮行である。またそれは、核兵器を国際法、国際人道法に反するものとし、核兵器の開発・実験・生産・製造、使用、威嚇などを全面的に禁止した、核兵器禁止条約発効めざす世界の流れに逆行する蛮行である。

私たちは北朝鮮に対し、ただちに核・ミサイル開発を中止することを、断固として求めるものである。

一、この事態に対し、トランプ大統領が「北朝鮮との融和的な対話は役に立たない」と述べ、「テーブルの上にはすべての選択肢がある」と軍事的手段も示唆。安倍首相はこうした姿勢を後押しするように、「対話のための対話にはまったく意味がない」と頑なに対話を拒絶し続けている。また、米軍B1戦略爆撃機2機と岩国配備のF35ステルス戦闘機4機を韓国に展開し爆撃訓練を実施。九州上空では航空自衛隊のF15戦闘機と共同

訓練を行うなど、米軍の軍事的威嚇に自衛隊が加担する動きを強めている。このような対話を拒否し軍事威嚇を強める行動は、緊張をいっそう激化させ、誤算や偶発的事態による軍事衝突の危険を高め、破局的事態を招きかねないものである。私たちは北朝鮮はもとより関係国が、軍事的緊張を高める言動をただちに中止することを求めるものである。

一、いま求められているのは、軍事衝突回避のために米朝が直接対話に踏み出すことである。そして、関係国が「対話を通じて平和的で包括的な解決」(8月29日、国連安保理議長声明)のために、全力を尽くすことである。安倍政権は対話を拒否し、軍事威嚇に加担する政策を転換すべきである。そして、根本的には、核兵器禁止条約に自ら率先して加入し、北朝鮮にも米国にも核兵器禁止条約への加入を求め、核兵器のないアジアと世界の実現のために努力すべきである。それこそが、こうした事態を根本的に根絶する道である。

許すな！安倍九条改憲

安倍政権はこの秋、9条改憲案を党内論議し衆院3補欠選挙の結果を見て公表する段取りと言われています。

3項に自衛隊が書き込まれれば「後法は前法を廃する」との原則から2項の「戦力不保持」や「交戦権の否認」の解釈が変更され、「戦力」としての自衛

隊が認められてしまいます。

9月初旬開催の日本平和委員会理事会では9条改憲の危険性を学習し多くの市民に知らせ、臨時国会で発議させないことが何より大事と確認しました。

その学習に役立つ記事・冊子(すべて在庫)は次のものです。

- ◎「平和新聞」8月5日号4、5面
- ◎『憲法9条を変えて、「戦争する自衛隊」にしたいですか』(憲法会議発行、頒価100円)
- ◎日本平和大会学習パンフ(頒価200円)

憲法9条生かした積極的な平和外交を！



大阪平和委員会

→大阪平和委員会の横断幕6県から注文が来ています。

今月の言葉ー「小国ながら自立を貫くキューバ」

グローバリズムの今、世界の多くの国が弱者を切り捨てて社会格差を広げる米国流の新自由主義を採用する。一方でキューバは完全な形での社会主義は放棄しつつも、弱者を救う姿勢を崩さない。米国のトランプ大統領に日本の安倍首相がすり寄り寄る姿が、欧米のメディアから「おべっか外交」と皮肉られた。これに比べ小国ながら自立を貫くキューバの姿勢は凛として見える。

(『凛とした小国』伊藤千尋、新日本出版社)

10月の行事案内

- 10/8 (日) 都島平和のつどい2017 13:00 おおさかパルコ 本部3階ホール 富田宏治さんと西谷文和さんの講演
- 13 (金) 憲法大学習会 18:30 たかつガーデン 「約束と希望としての日本国憲法」 廣渡清吾東大名譽教授
- 14 (土) 橋本敦先生の卒寿を祝う会 13:00 リバーサイドホテル
- 22 (日) 若者憲法集会 10:00 エルおおさか
- 28 (土) 日本平和大会開会集会 14:00 防府市民会館
- 29 (日) 同 動く分科会・閉会集会 9:15 岩国市内